

秋田の土地改良

4

2009・APR

あ
すを拓く大地

き
らめく疏水

た
くましき郷



みどり
水土里ネット秋田

目次

新任のごあいさつ 会長 高貝久遠……………	2	平成20年度農用地等集団化関係優良地区表彰……………	13
新任の挨拶 専務理事 黒子高夫……………	3	平成20年度雄物・米代川地域広域基盤確立推進協議会…	14
第51回本会通常総会……………	4	水土里ネットIT化(通信情報網)に向けた支援の拡充…	15
平成21年度県の土地改良関係課事務分掌……………	9	連合会日誌・第50回全国土地改良功労者表彰式 ……	16
平成21年度本会機構図及び職員配置……………	11	会員だより・水土里ネット秋田の動向……………	17
秋田県農地・水・環境保全向上対策地域協議会 総会…	13	インフォメーション……………	18



新任のごあいさつ

秋田県土地改良事業団体連合会

会長 高 貝 久 遠

野山の草木が日ごとにその青さと勢いを増し、田んぼに早苗が愛らしい姿を並べるのも間もなくです。

会員の皆様には日頃、本会の運営に格別のご理解とご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

去る、3月19日開催の第51回通常総会及び理事会において、前高畑会長の後任として選任頂きました。

関係各位のご協力、ご厚情をこれまで同様、心からお願い申し上げます。

昨年度、創立50周年記念大会が盛会裡に開催されましたが、本会の沿革、歴史を見るにつけ多くの事業を通じて、秋田県農業に大きく貢献してきたことが理解できます。

これは歴代の会長の功績は勿論であります、本会の職員が地域に足を運び、会員の皆様をはじめ、地域の農業振興関係者と一体となって、日頃の業務を通じて培った知識、技術を大いに発揮した結果によるものと考えます。引き続き、農業農村整備事業推進のため役職員が一丸となって、全力を傾注して取り組んで参る所存でありますので、よろしくお願い申し上げます。

今、私どもの生活や暮らしを支える経済については、テレビ、新聞等で報道のとおりアメリカのサブプライムローンから端を発し、リーマンブラザーズの破綻によって百年に一度という金融恐慌の波が大きく押し寄せております。その影響下で円高不況、それに伴う企業の倒産、あるいはリストラ、雇用悪化という大きな影響を我が国も被ってこうした未曾有の経済不況は、国、県及び市町村に大きな税収減をもたらしております。

このような経済事情から、本会の事業計画とそれに伴う予算運営が、益々厳しさを増すものと思われまます。

会員の皆様におかれましては、かかる事情をご理解の上、更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

さて、本年度の新たな事業として情報化社会に向け、改良区の情報基盤の整備等に取り組むことといたしました。

また、喫緊の課題となっている我国の雇用問題については、公的機関としての社会的貢献を果たすという観点から新規に雇用を創出し、本会独自に改良区の業務であります維持管理計画書の作成、農地の有効利用に資する台帳の作成及び水利施設点検調査業務の一部を改良区に代わって、実施することとしております。

本会が農村あるいは農業にとって、社会的に大きな責務を負っていることはご案内のとおりであります。

その責務の重大さを真摯に受け止め、秋田県農業再編発展のために会員の皆様と共に頑張る覚悟であります。

今、時代の流れとともに求められているソフト事業にも積極的に取り組んでいかなければならない時代に到達いたしました。

今後とも県当局、市町村、各土地改良区から信頼され、そして頼られる土地連として頑張ることを皆様にお誓いを申し上げまして、ご挨拶といたします。



新任の挨拶

専務理事 黒子 高夫

会員の皆様には、日頃から農業農村整備事業の推進は元より、本会の業務運営につきまして特段のご指導、ご支援を頂いておりますことに厚く御礼を申し上げます。

私こと、第51回通常総会において専務理事に選任され、過日着任いたしました。本会の発展のため、微力ではありますが全力を尽くして参りますので、ご支援のほど宜しくお願いを申し上げます。

現在、昨年秋の米国発金融不安に端を発した世界的な経済不況にあり、日本では輸出依存型から内需拡大型へと経済構造をシフトすることが求められ、福祉介護、環境対策そして農業などがこの一翼を担うことを期待されており、特に農業は我が国の自給率向上や、担い手の高齢化等の観点から新規雇用が望める分野でもあります。

こうした中、今年からスタートする「耕作放棄地対策」は、米粉、飼料米など水田フル活用に資する他、既に地域ブランド作目が芽生え、販売ルートも形成され、その生産拡大を目指す生産組織にとっては、新規の雇用も併せて発生するなど、地域を明るく元気にするタイムリーな事業であると思っています。この事務局を本会が担っており、この活用についてご相談に応じますので宜しくお願いたします。

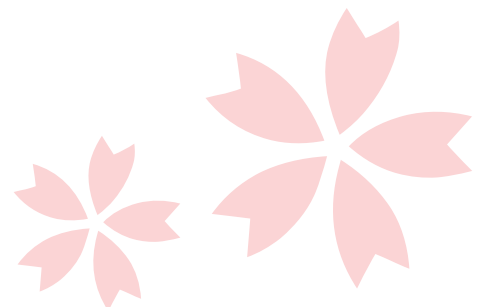
また、土地改良施設の維持管理についてであります。水田農業の経営所得安定対策では集落営農の組織化と、その法人化を目指し経営体の育成が進められており、将来的には地域集落

の農地はこの経営体へ徐々に集積されるものと思います。そこで喫緊の課題はこの経営体等が使用する用排水路等各施設の補修更新を行う場合の負担であります。

農地・水・環境保全向上対策では農業を持続することは、その下流域の非農家も含む住民の環境を守ることにつながることから、本対策は「環境支払い」とも呼ばれています。この考え方を更に進め、経営体や個々の農家の施設更新にかかる事業費負担を少しでも軽減することが持続的営農の継続に繋がることから、こうした現場の生の声を関係機関へ伝え、諸制度の見直し、新たな負担の枠組みについて提言していきたいと考えております。

農業農村の振興を目指す私どもにとって、このように食料自給率の向上を基本に、経営の複合・多角化による農家・経営体の所得の増大を図るため、各種事業を引き続き適時・適切に展開することが重要であると考えておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、会員皆様の益々のご健勝・ご多幸をお祈りいたします。



第51回

本会通常総会

新たな雇用創出へ 「水土里ネット支援対策事業」を創設!



◆新会長には、高貝氏を選任

3月19日、本会第51回通常総会が県社会福祉会館(秋田市)において会員132名(内委任状42名)が出席、来賓として佐藤文一県副知事、森多可志東北農政局次長、大野忠右エ門県議会議員、二田孝治衆議院議員、鈴木陽悦参議院議員、松浦大悟参議院議員、佐藤文隆県農林水産部長ほか関係者多数が臨席のもとに開催された。

総会では高畑会長が「農村には安全で安心な食料を生産し、国民の命を守る役割がある。そのために農地や水路の適切な保全が不可欠。水土里ネットとして社会的な役割をしっかりと果たして行きたい(詳細別掲)」と挨拶、功績者表彰として優良10団体及び個人19名の表彰が行われ、続いて来賓の方々が祝辞を述べられた。

議事では、議長に鳥海町笹子土地改良区理事長佐藤弘志氏を選出し、平成19年度事業報告及び一般会計収支決算、平成20年度一般会計収支補正予算(理事会専決処分)、平成21年度事業計画及び一般会計収支予算、定款及び監査細則の一部改正などが提出され、審議の結果、提出案件は承認された。

事業計画では、農地の現状を把握する地理情報システムを活用した情報インフラの整備や、耕作放棄地対策協議会などの事務局運営を行うほか、新たな雇用創出対策として「水土里ネット支援対策事業」を創設し、土地改良区に代わって農地台帳や維持管理計画書の作成業務を行う。

また、任期満了に伴う役員選任も議決され、

新たに理事13名、監事3名が選任された。最後に、三浦専務理事により決議文(別掲)の朗読があり、満場の承認を得て採択され、総会は終了した。

また、総会終了後に開催された理事会で、会長の互選が行われ、新会長に高貝久遠氏(秋田県田沢疏水土地改良区理事長)、副会長に工藤久兵衛氏(井川町土地改良区理事長)と三澤敏行氏(北秋田市綴子土地改良区理事長)を選任した。

なお、今回表彰された土地改良功績者表彰(優良団体、個人)の受賞者は次のとおり。

【団体表彰：土地改良区】◇金章＝大館市南、秋田県仙北平野東部◇銀章＝大館市釈迦内、雄和中央、鳥海町笹子◇銅章＝大館市十二所、山本郡岩堰、男鹿市五里合、秋田市豊岩小山、秋田市上北手小山田

【個人表彰】吉田修、小笠原弘、虻川良逸、小栗正春、三浦宗二郎、鎌田精一、堀井金義、川村凉子、藤原博志、関谷真貴子、正木正一、佐藤實、轟田恭悦、高橋周作、加藤正孝、小柳貞子、伊藤竹夫、松井久美子、阿部修悦

